

研究課題名: 感染制御チームの推奨薬提案が抗インフルエンザ薬処方動向へ与える影響

1. 研究の目的

現在、季節性インフルエンザの治療薬には飲み薬が2種類(オセルタミビル、バロキサビル)、吸入薬が2種類(ザナミビル、ラニナビル)、注射薬が1種類(ペラミビル)あります。インフルエンザと診断され、医師が必要と判断した場合にこれらの治療薬のいずれかが処方されます。当院では複数の抗インフルエンザ薬の合理的な使用を推進するため、2019/2020年シーズンに感染制御チームによる治療薬の使用方針を示しました。この方針が抗インフルエンザ薬の処方動向にどのような影響を与えるかを明らかにすることを本研究の目的としています。

2. 研究期間

承認日～西暦2020年9月30日

3. 研究の対象となる方

2018年12月1日～2019年3月31日まで、及び2019年12月1日～2020年3月31日までに当院にて抗インフルエンザ薬を処方された15歳以上の方

4. 調査内容

上記の対象期間中に記録された診療情報(年齢、性別、臨床情報)、ウイルス検査結果、抗インフルエンザ薬の種類等。

5. 研究参加について

プライバシー確保のため、患者様が特定できないようにデータを処理した上で研究解析を行います。また、研究結果を公表する際には、患者様個人が特定されることはありません。ご自身のデータを使ってほしくないとお考えの場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

6. 利益相反について

本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

7. 当院の研究責任者

市立吹田市民病院 薬剤部 児玉 暁人

8. お問い合わせ先

大阪府吹田市岸部新町5番7号
市立吹田市民病院 薬剤部
06-6387-3311(代表)